

小諸厚生総合病院の再構築

医療は住民のもの

【外観イメージ】



■平成29年12月開院へ向けて
平成24年11月16日に締結した「小諸厚生総合病院の移転新築及び運営等に関する基本協定書」に基づき、旧市庁舎跡地への病院建設が始まりました。

3月15日に起工式が開催され、現在着々と工事が進んでいます。平成29年10月に建物の工事が完了し、12月には開院する予定です。

市は、地域住民が必要とする医療を将来にわたり確保できるように財政支援として30億円を支出します。

■新病院の概要

病床数は246床で、うちHCU（高度治療室）が12床となり、現在よりも5床の増加となります。また、在宅復帰支援を行う地域包括ケア病棟31床が、リハビリ訓練室と併設され、救急医療及び在宅医療への支援がより充実されることとなります。

診療科は内科・呼吸器内科・外科・小児科・産婦人科など29科で、現在の機能がそのまま移行されます。

新病院の玄関は、ロータリーを挟んで市庁舎と向かい合わせとなり、患者さんはここから出入りしていただくよう

になります。

救急車の出入口は、1階の道路に面した建物の北側となり、患者さんの出入口と動線を分けています。また風雨や視線等に配慮しています。

○浅間南麓地域の保健・医療福祉の拠点として

小諸厚生総合病院は、昭和35年4月に佐久総合病院の分院として開院しました。その後、昭和55年に佐久病院から独立し、以後「医療は住民のもの」を掲げ、地域の中核病院として医療を担ってきました。

今後、浅間南麓地域の中核病院として「かかりつけ医」や他の医療機関への支援と連携の拠点となり、住民の安心・安全を担っていきます。

○駐車場について

コンパクトシティ構想の一環で市が整備した、市役所の地下駐車場、赤坂の立体駐車場及び建設予定の西庁舎跡地（ツルヤ小諸店隣）の駐車場を共同でご利用いただくこととなります。

ご不便をおかけしないように駐車場の運営をしていきます。

■まちづくりへの期待

病院が完成すると市庁舎周辺の整備が完成することとな

ります。市役所、図書館、市民交流センター、商工会議所、あいおい公園、これに病院が加わり、相乗効果をもたらすことにより、中心市街地のにぎわいが期待されます。

■小諸厚生総合病院建設工事概要

○鉄筋コンクリート造り
地上6階 地下1階

○建築面積
延べ床面積2万1、103㎡

○総事業費
約72億2、000万円

○建築主体
北野建設(株)

・電気設備 (株)TOSYS
・機械設備 第一設備工業(株)

・設計監理 (株)石本建築事務所

※病院の再構築についての詳細は、病院ホームページの病院広報誌「さりとく」に掲載されています。

▼問い合わせ先
健康づくり課